

改訂 祇園祭と戦国京都

かわうち まさよし

河内将芳 著

▼文庫判・並製カバー・280頁・定価 1,100円

2021年7月刊行



「権力に抵抗する民衆の祭」というイメージは実態に合うものなのか。イメージと史実を比較し、中世都市祭礼・祇園祭のリアルに迫る。

【目次】

はじめに

第一章 イメージとしての祇園祭

1 紙芝居「祇園祭」

2 小説『祇園祭』と映画『祇園祭』

第二章 天文二年の祇園祭

1 天文元年～二年六月の政治状況

2 天文二年の祇園祭

第三章 室町幕府にとっての祇園祭

1 祇園祭の再興

2 幕府と祇園祭

第四章 延暦寺大衆にとっての祇園祭

1 日吉社の祭礼と祇園祭

2 延暦寺大衆と祇園祭

第五章 神輿と山鉾の祇園祭

1 神輿渡御

2 山鉾巡行

おわりに

関連略年表／図版出典一覧／あとがき

／文庫版あとがき

◆著者略歴

一九六三年生まれ。京都大学大学院博士課程修了。京都大学博士（人間・環境学）。奈良大学文学部教授。主な著書に『中世京都の都市と宗教』『祇園祭の中世』（以上、思文閣出版）、『絵画史料が語る祇園祭』（淡交社）、『戦国仏教と京都』『室町時代の祇園祭』『信長が見た戦国京都』（以上、法蔵館）などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
河内将芳著	
法蔵館	
定価 1,100円	
住所	1)
お名前	お電話
ISBN: 978-4-8318-2624-4 C1121	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp